

経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県 神戸町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A6	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	97.53	99.02	1,645	

人口（人）	面積（km ² ）	人口密度（人/km ² ）
18,409	18.78	980.24
現在給水人口（人）	給水区域面積（km ² ）	給水人口密度（人/km ² ）
17,700	18.00	983.33

グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和5年度全国平均

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は近年低下傾向にあり、100%を超える水準を維持しているものの、物価高騰により支出が増大しているため、厳しい状況である。累積欠損金は発生しておらず、健全な財政状態が維持されている。

流動比率は、流動負債に対する流動資産の割合であり、短期債務に対する支払能力を表している。流動比率は高くなっており、支払い能力は十分に確保されている。

現在、企業債は借入を行っていないため将来の返済負担はない。

料金回収率は100%を下回っているが、物価高騰の対策として水道料金の基本料金を一部免除した影響であり、不足分は一般会計からの補助金で賄われているため問題ない。

給水原価はわずかに上昇傾向にあるが、良質な地下水を水源としているため、類似団体と比較して大幅に低くなっている。

施設利用率は、人口減少が進んでいるため使用水量が減少し、施設能力が余っている。類似団体よりも施設利用率は低い。

有収率は類似団体と比較して低く、近年低下傾向にある。配水管からの漏水の影響を調査・検討し、配水管の布設替えを積極的に行うなどして回復していきたい。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率は、北部水源地の機械・電気設備の更新を行ったため、令和3年度から類似団体より低くなった。その後、有形固定資産減価償却率は上昇傾向にあるため、施設の老朽化が年々進んできている。

管路経年化率は上昇傾向にあり、配水管の布設替えを行って、老朽管を少なくする必要がある。

管路更新率について令和5年度は低くなったが、それでも類似団体より高く維持されている。今後しばらくは下水道事業の整備に合わせて配水管の布設替えを行うため、管路更新率は高く維持される予定である。

全体総括

経営状態は、経常収支比率が100%を超えており、累積欠損金も無く健全な経営を行っている。しかし、経常収支比率は年々低下してきており、100%を下回る水準まで近づいたため、令和7年4月より水道料金を20%改定（値上げ）することとしている。

管路更新を積極的に行っており、類似団体と比較して管路更新率は高いが、管路の老朽化は今後も進むため、引き続き管路更新率を高く維持していく必要がある。

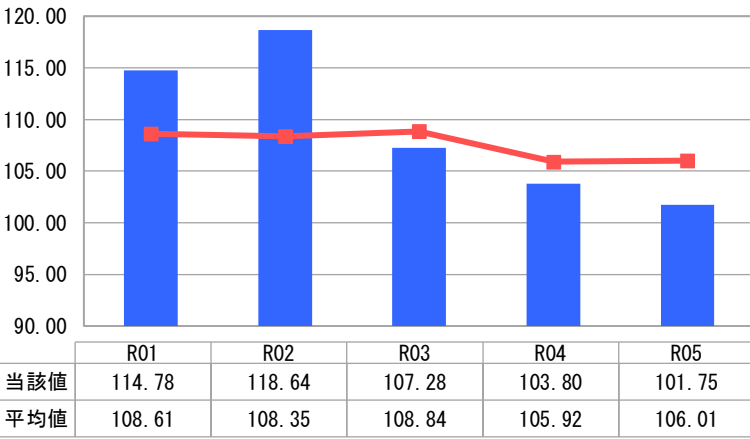
施設利用率は類似団体と比較してやや低いため、将来の水需要予測を踏まえ施設・設備の合理化を、施設更新時に検討する必要がある。

今後の課題として、有収率が類似団体に比べて低いいため、改善を検討していく必要がある。

1. 経営の健全性・効率性

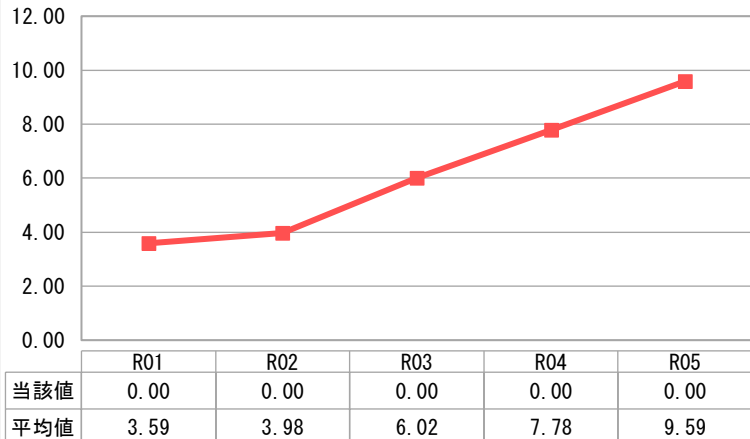
①経常収支比率(%)

【108.24】



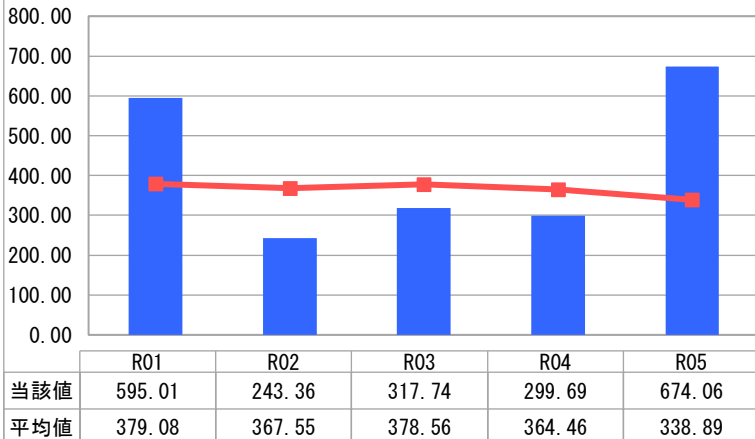
②累積欠損金比率(%)

【1.50】



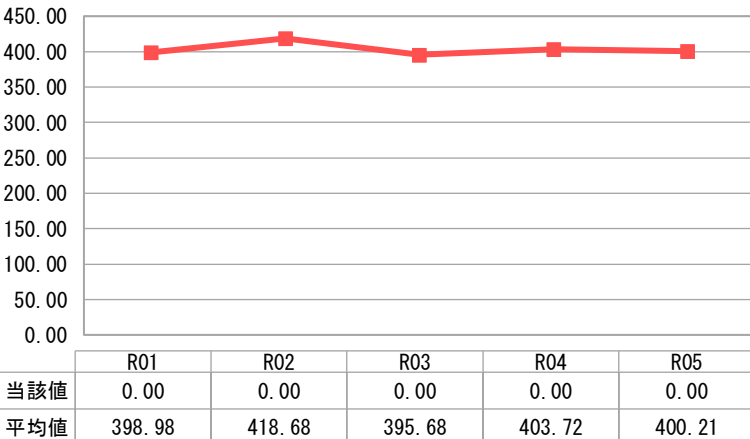
③流動比率(%)

【243.36】



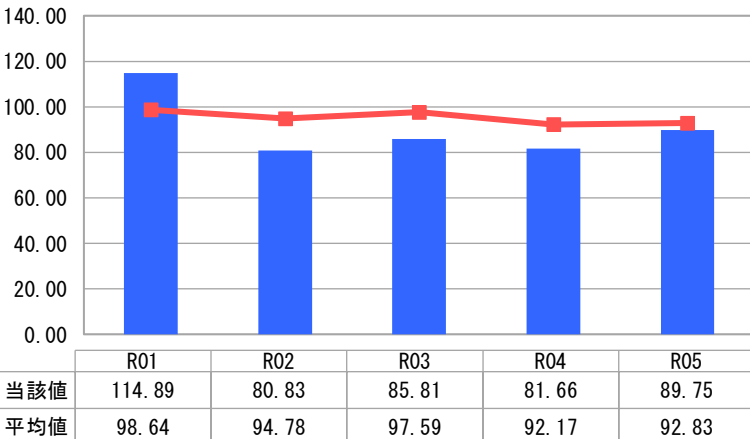
④企業債残高対給水収益比率(%)

【265.93】



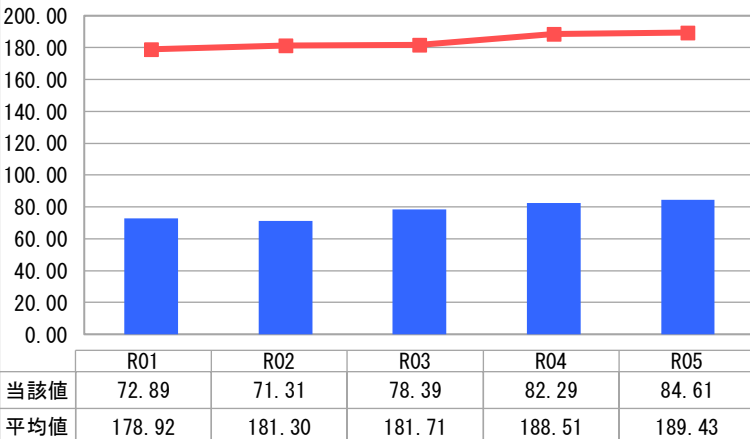
⑤料金回収率(%)

【97.82】



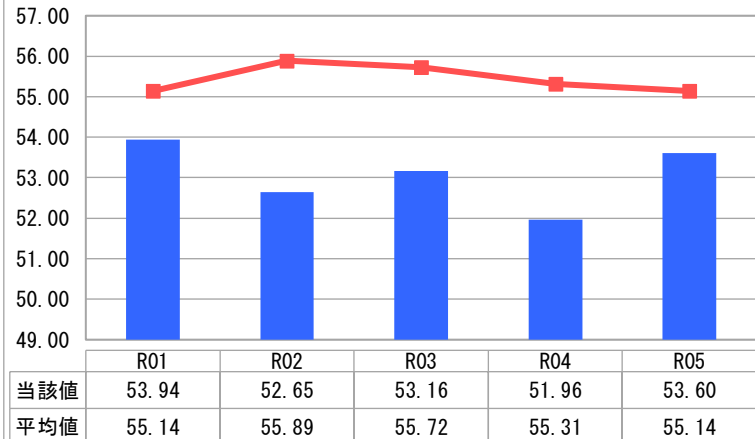
⑥給水原価(円)

【177.56】



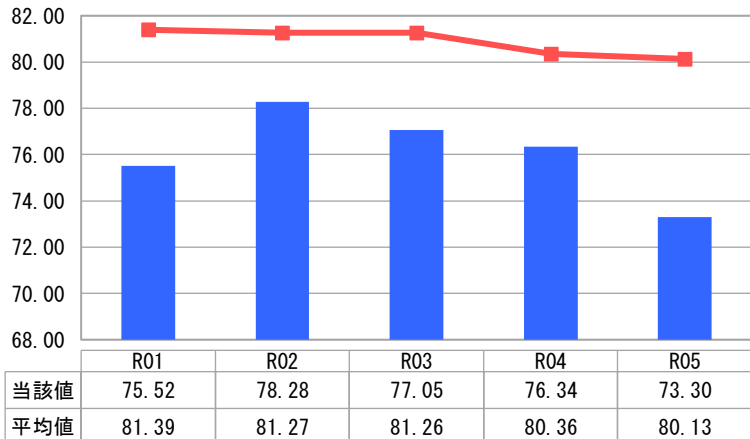
⑦施設利用率(%)

【59.81】



⑧有収率(%)

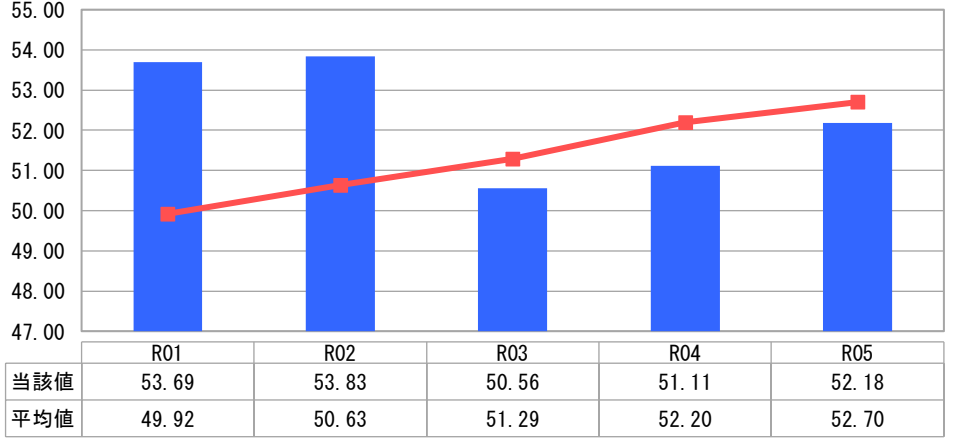
【89.42】



2. 老朽化の状況

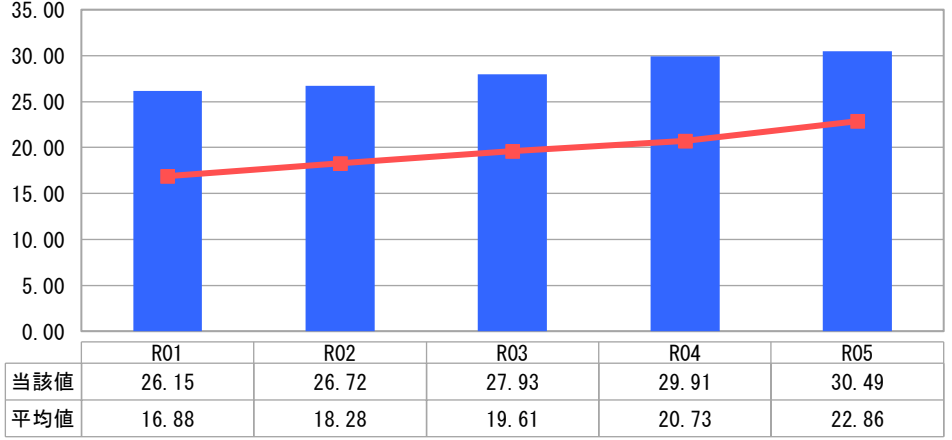
①有形固定資産減価償却率(%)

【52.02】



②管路経年化率(%)

【25.37】



③管路更新率(%)

【0.62】

